

令和5年度 学校関係者評価及び改善策

((中間)・最終)

広南中学校区 校番2

呉市立広南小学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育目標実現のため、地域の人材を活用して、学校と地域が協働できる教育活動を創造している。 ・小中一貫校として、9年間で、児童生徒の育成を目指しているのがよい。 ・地域の特性や児童の実態に合った目標設定をしている。
目標達成のための方策の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・目指す児童像を実現する学び合いの場が構築されている。 ・予習学習ノートへの先生のコメントは、学習意欲を高め、主体的な学習の礎を育てられる。 ・「くれチャレンジマッチ」の取組結果を掲示板に示すことが意欲付けになっている。
自己評価の結果の分析の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の中での話し合い(聴き合い)方の基礎を低～中学年できちんと身に付けているので、学年が進むと個別の学び、多様なグループによる学び合い、全員での学び合いなど、いろいろな形が授業の中で自然にできるようになっている。 ・点数化しながら対策をしている。
今後の改善策(案)の適切さ	B	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちの発言や行動で自分の考えが変わったり深まったりする楽しさを子どもたちが実感できるよう、楽しい学び合いの積み重ねを今後も継続してほしい。 ・今後一層の改善をお願いしたい。 ・数値にこだわり過ぎず、教職員自ら課題を見付けて一生懸命努力して楽しかったと思える業務改善が蓄積されることを期待する。
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・学習環境の整備と教職員の子どもに対する姿勢が素晴らしい。 ・文化活動の拠点として勇躍する姿は、地域の誇りである。 ・PTA及び保護者で協力できることがあれば知らせてほしい。 ・情報があふれている。自分にとって大事なものを取捨選択できる子どもになってほしい。

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・前期の達成値を上回ることができるように、改善策を教職員間で共通理解し、組織的に取組を推進していきたい。 ・学び合いの積み重ねを意識して取り組み、学ぶ楽しさを実感できるようにする。 ・地域、PTA、保護者に感謝の気持ちを伝え、実態に合わせて連携・交流・協力を継続する。
--------------------	--